

△プレミネント配合錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 ロサルタンカリウム+ヒドロクロロチアジド (U) Losartan potassium+Hydrochlorothiazide 【分類】 持続性ARB/利尿薬合剤

【単位】 △LD : ロサルタンカリウム 50mg+ヒドロクロロチアジド 12.5mg/錠, ▼HD : ロサルタンカリウム 100mg+ヒドロクロロチアジド 12.5mg/錠

【常用量】 1錠/日

【用法】 分1

【透析患者への投与方法】 禁忌 (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 腎機能の悪化および高 K 血症に注意し慎重投与 (1)

【特徴】 ARB とサイアザイド系利尿剤の合剤。利尿による RAA 系の亢進をブロックするため相加効果が期待できる (1)

【主な副作用・毒性】 アナフィラキシー、血管浮腫、急性肝炎、劇症肝炎、横紋筋融解症、高 K 血症、不整脈、血球減少、血清電解質失調、低血糖など

【吸収】 ヒドロクロロチアジド : 主に小腸上部 (1)

【F】 ロサルタン : 33%、ヒドロクロロチアジド : 65~72% (1)

【tmax】 ロサルタン : 1.4hr、カルボン酸体 3.7hr、ヒドロクロロチアジド : 2.8hr (1)

【代謝】 ロサルタンは主に肝臓でカルボン酸体へ代謝され、主として CYP2C9 が関与 (1) ヒドロクロロチアジドはほとんど代謝されない (1)

【排泄】 ロサルタン及びその代謝物は胆汁を介した糞便中及び尿中に排泄される (1) 【CL】 ロサルタン 610mL/min、カルボン酸体 47mL/min、ヒドロクロロチアジドの腎 CL : 4.9±1.1mL/min/kg(外国人データ) (1)

【t1/2】 ロサルタン : 1.7hr、カルボン酸体 : 5.8hr、ヒドロクロロチアジド : 7.9hr (1)

【蛋白結合率】 ロサルタン及びカルボン酸体 : 99%以上、ヒドロクロロチアジド 22% (1)

【Vd】 ロサルタン 34L/man、カルボン酸体 10L/man、ヒドロクロロチアジド : 0.83±0.31 L/kg (1)

【MW】 ロサルタンカリウム 461.01、ヒドロクロロチアジド 297.74

【透析性】 ロサルタン : 透析されない (5) ヒドロクロロチアジド : ある程度透析される (5)

【O/W 係数】 ロサルタン : 8.7 [n-オクタノール/buffer, pH7] (1) 【pKa】 ロサルタンカリウム : 4.3、ヒドロクロロチアジド : 7.9 及び 9.2 (1)

【相互作用】 CYP2C9 を介する相互作用に注意 (1) アリスキレン : 腎機能障害、高カリウム血症及び低血圧の可能性 (1)

【備考】 高血圧治療の第一選択薬として用いない。原則としてロサルタンカリウム 50mg で効果不十分な場合に本剤の使用を検討 (1)

【更新日】 20141222

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。